

### **ポイントⅢ 下水道は整備して終わりではなく、老朽施設対策、資源の再生と活用、省エネ対策も推進していく必要**

- 地域の経済活動を支え、また広域的な水質を保全するなど、一の市町村区域を越えた役割を持つ下水道施設は整備して終わりではなく、適正に機能させ続けることで、その役割を全うできる。古くに建設された施設は老朽化が進み、適正な機能を維持させ続けるための改築更新等が必要となっている。
- 見方を変えれば、改築等の機会は、下水再生水、下水汚泥中のリン等の資源の再生・活用や施設の省エネ化、地球温暖化対策等を実施していく絶好のチャンスとも言え、機会を失することなく的確な再構築を推進していく必要となっている。